

「はなみくじ」で占う Young Adult Books Best Selection

花便りの嬉しい季節となりました。
「はなみくじ」に挑戦してみませんか？あみだで行きつく先に待っているのは、春の花たち。
それぞれの花言葉にあわせておすすめ本を紹介しします。では、ステキな新しい本との出会いを！

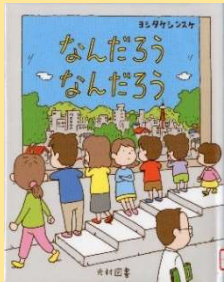


たんぽぽ
発見・誠実



『放課後の文章教室』

小手鞠 るい／著
借成社(Y816 コ)



『なんたらう なんたらう』

ヨシタケシンスケ／著
光村図書出版(150 ヨ)

『放課後の文章教室』は「書くこと」について中高生から寄せられる質問に、小説家である筆者が答えます。読めばきくと驚きと発見が満ちた文章の森へ踏み出したくなるはずです。
『なんたらうなんたらう』は他愛ない会話の中に立ち止まり、考え始める「なんたらう」結構難しく哲学的。自分で考えるためのヒントになてくれる本です。



さくら
勇気・優美な女性



『グレタのねがい』

ヴァレンティナ・キャメリニ／著
杉田 七重／訳
西村書店(519 カ)



『世界を変えた100人の女の子の物語』
エレナ・ファヴィツリ／著
芹澤 恵／訳
河出書房新社(Y280.4 フ)

『グレタのねがい』は15歳のグレタは、地球温暖化を食い止めるための行動を政府に迫るため、学校に行かずに国会議事堂 向かいストライキをはじめます。グレタの希望と勇気と決意の物語です。
『世界を変えた100人の女の子の物語』は強い意志をもって道を切り拓いた100人の女の子を肖像画と共に紹介。全て本当にあたとびりきりのポジティブストーリーです。



ガーベラ
希望・前向き



『明日の僕に風が吹く』

乾 ルカ／著
KADOKAWA
(E イヌ)



『ほぐれくん おおきな丸にであう』

シェル・シルヴァンスタイン
／著 村上春樹／訳
あすなる書房(YE シ)

『明日の僕に風が吹く』は一步踏み出す勇氣を持つことで、人は少しずつ変われるということが感じることが出来る作品です。
『ほぐれくん おおきな丸にであう』は「ほぐれくん」が自分と一緒にいられるべき相手を探す姿を描いています。ある日、大きな丸に出会い、自分が変わることも必要と教えられる「ほぐれくん」。線だけの単調な絵ですが、その中身はかなり深い。そんな本です。



アネモネ
期待・希望



『太陽ときみの声』

川端 裕人／著
朝日学生新聞社
(YF カワ1・2)



『ほくはイエローでホワイトでちよつとブル』

ブレイディみかこ／著
新潮社(376.3 ブ)

『太陽ときみの声』はサッカー命の高校2年生の一輝が、遺伝子性の難病から突然の視力低下、絶望に襲われるが、全盲者のためのサッカー「ブラインドサッカー」に出会い、光を取り戻していく。朝日中高生新聞連載小説です。
『ほくはイエローでホワイトでちよつとブル』は舞台はイギリス。東洋人の外見を持つ12歳の少年は時に人種差別を受けながらも、悠々と問題を乗り越える彼の日常を綴った本です。